

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP <https://isawachu.edumap.jp>〉

胆沢プライド体育祭 テーマ「つむぐ～胆沢中の絆～」



5月13日に体育祭を開催しました。今年度は、黄組団（3Aと1A）、赤組団（3Bと2Bと1B）、桃組団（3Cと2Aと1C）、青組団（3Dと2Cと1D）に分かれての取組でした。それぞれの組団が3年生を中心とした活動を進め、競技と応援の両面の練習と準備を重ねてきました。当日はその成果を発揮し、胆沢中生の元気を発信できたと思います。ご覧いただいた皆様に感謝申し上げます。生徒たちにとっても、多くの経験と自信を得る機会になりました。全校一丸となった体験を、次につなげていきたいと思ひます。

いじめ防止宣言

胆沢中では、前期・後期の生徒会総会の日をいじめ防止の日とし、生徒会活動の一環としていじめについて考える行動する取組を続けています。今年度は、代表者の取組宣言の発表を聞いた上で、全校生徒一人ひとりが、自分の気持ちや思いを宣言（文章）として記入し、掲示することから取組を始めています。

情報モラル宣言（ネット安全）

胆沢中では、生活リズムの乱れや学習への影響や人間関係のトラブルを防止することを目的とし、情報機器の正しい使用のための宣言を更新しています。この宣言は平成29年9月の臨時生徒会総会以降引き継がれてきているものです。今年度も宣言に基づき、安全な利用について取組を進めていきます。

春の全国交通安全運動

11日から20日が運動期間であり、20日は交通事故死ゼロをめざす日となっています。例年5～6月は歩行中の道路横断での事故が増加傾向にあるそうです。

併せて自転車安全利用五則についても呼びかけが続けられています。安全に必要な事柄は、声掛けを続けていきたいと思えます。

「自転車安全利用五則」を守って、安全運転に努めましょう。

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



見通しをもった生活を

6月は、17・18日の地区中総体、28日・29日の期末テストがあります。先を見て準備を進める力も必要です。まずは、意識し続けることで、すべきことが見えると思えます。

高1調査⑬ 「職業」

将来の職業を考えるための活動をしたか？

インターンシップに参加した	11. 4%
学校で職業や仕事の話聞いた	24. 1%
授業で職業や仕事を学んだ	42. 7%
学校外で職業や仕事を学んだ	13. 8%
その他	3. 2%
何も行っていない	36. 7%

回答割合は大きくないですが、インターンシップ（就業体験活動）や学校外で学んだと答えている生徒がいます。学科によっては就職に直結することもあるかと思えます。学校での授業以外の体験や活動の機会から得ることにも、働くことに関する大切な事柄が含まれていると思えます。